



『希望・創造・友情』あふれる学校

すずかぜ

都立花畑学園

第 3 号

R5/5/25 発行

花畑学園の学校だより



地域一体となって

副校長 山岸 武

5月8日から、新型コロナウイルス感染症が5類に移行して教育活動への制限も緩和されました。その中で、先日は全校行事「スポーツフェスティバル」を実施いたしました。今年は、「地域と一体となったスポーツフェスティバル」の開催を目標に掲げ、13日（土）肢体部門では、足立区スポーツ振興課から3名のボッチャの審判員と、東京未来大学から5名の学生がボランティアとして参加しました。また、20日（土）知的部門では、花畑第一小学校、淵江高等学校、保木間第5団地、東京未来大学の方々がそれぞれ参加した、地域参加型リレー「花畑版ユニバーサルリレー」を、昨年度に続き行うことができました。様々な地域の皆様が集い、一つのバトンをつなぎゴールを目指す、まさに地域が一体となった時間でした。御協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

競技では、肢体不自由教育部門はボッチャの競技を各学年でルールを工夫して行いました。中でも高等部の優勝を決める最後の一投では、ミリ単位で勝敗を分ける場面もあり、大いに盛り上がりました。知的障害教育部門では、走競技の他、団体競技の玉入れを行いました。学年毎に子どもたちの課題に応じて楽しんで取り組める内容で行い、どの学年も保護者の皆様の応援に熱が入り、大いに盛り上がりました。子ども達にとっても我々教職員にとっても貴重な一日となりました。参観していただいた多くの保護者の皆様、ありがとうございました。

【教育相談・進路交流部より】 担当主幹 古里 宏子

支援部は、就学相談や校内支援など相談に関わる業務や、進路指導、地域との交流などの業務を担当しております。学校見学や体験入学、学校公開、副籍交流、学校間交流などを通し、地域の方や外部の関係機関との連携を進めていく部署でもあります。

本校は、足立区の特別支援教育を推進するセンター校の役割もあります。特別支援教育コーディネーターが足立区にある他の特別支援学校とも連携しながら、足立区の小・中・高への学校支援も行っております。地域でのつながりを大切に、共生社会の実現をめざします。

卒業後も、地域の中で充実して過ごせるよう、多様なつながりを大切にしていきます。今年度は、特に進路についての情報を毎月発信させていただきます。御覧ください。

【情報メディア部より】 情報メディア部担当主幹 入川 智直

情報メディア部は、教員や児童・生徒のデジタル機器の管理や、Teams等のデジタルの利活用を促すこと、そして図書室の運営を行っていく部署です。

デジタル機器の活用やオンラインを用いた教育活動は、コロナ禍によって普及しました。今後、デジタル機器を一層活用し、タブレット端末を文房具のように取り扱う時代になります。本校でも児童・生徒のデジタルの利活用について、一層進めていきます。

また、本校の図書室は、図書管理システムを導入しました。これから図書室の本格的な運用がはじまります。本校は小学部から高等部まであり、様々な図書があります。電子図書が普及しつつある時代ですが、「紙の本」を読む大切さは変わりません。児童・生徒が行きたくする図書室を目指し、システムの準備等をしていきます。